

工学部知能情報システム工学科の古家教授らが IEEE Transactions on Audio, Speech, and Language Processing 誌に発表 した論文が、公益財団法人電気通信普及財団から テレコムシステム技術賞を受賞しました。

対象論文は、マイクロホンの集音信号のみを用いて、高い臨場感が得られる音空間を再生する方法を提案しています。従来の方法では、受聴者からみてスピーカーアレーの前方に音源を形成する場合は、源信号等に関する情報が既知である必要がありましたが、提案手法ではこれを必要とせず、かつ線形フィルタリング処理による実時間動作が可能です。数値シミュレーション実験とともに実システム評価により提案手法の有効性を示しています。

公益財団法人電気通信普及財団は情報通信技術の普及、振興を目的に、情報通信における社会科学的又は工学技術的観点からの優れた研究論文や著作を表彰しています。

受賞された方々の今後益々のご活躍を期待します。

